

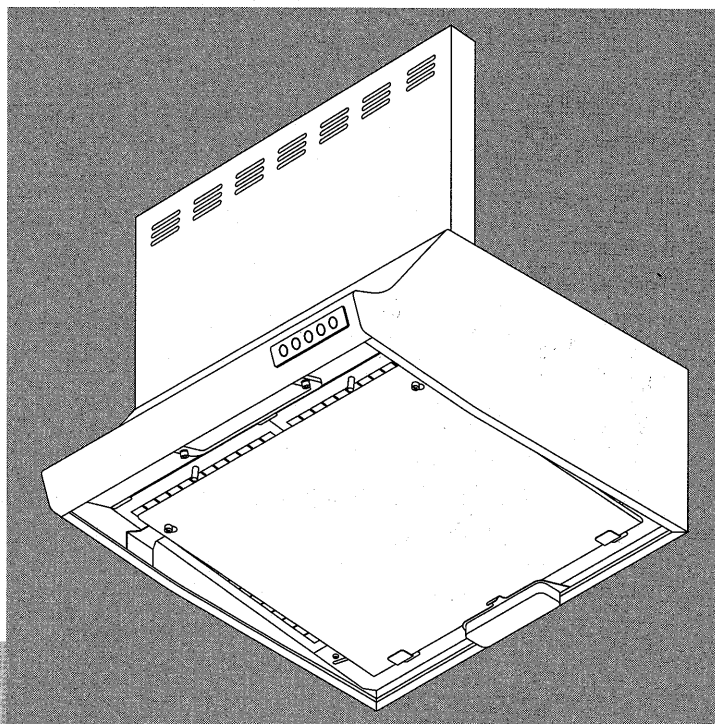
取扱説明書

レンジフードファン

このたびはレンジフードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、取付説明書とともに大切に保存してください。



も く じ

	ページ
●安全上のご注意	2・3
●各部のなまえ	3
●使いかた	4・5
●ランプの交換のしかた	5
●お手入れのしかた	6・7・8
●故障かなと思ったら	8
●保証とアフターサービス	9
●仕 様	10



安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



- 感電の恐れあり
電球を交換する時は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

分解・修理・改造禁止



プラグを抜く

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、切/入しないこと
感電やけがをすることがあります。



水かけ禁止

- 電気部品は、水につけたり水をかけたりしないこと
発火したり感電することがあります。



- 本体各部に直接水やお湯、かび取り剤等をかけない
ショート・感電の原因になります。



ほこりをとる

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと
火災の原因になります。

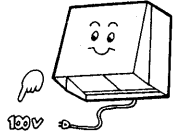


- 電球を交換するときは、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切って行う
抜かずに作業すると感電することがあります。

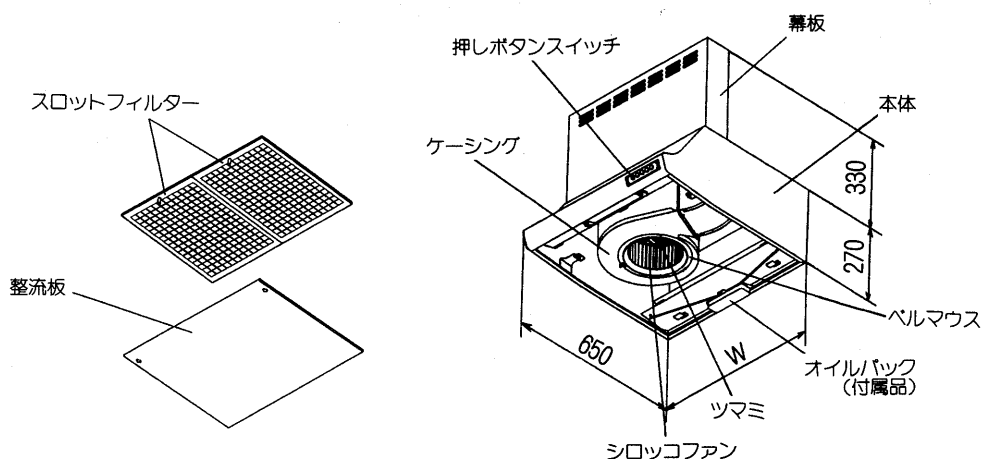


- ガス漏れの恐れがある場合は、換気扇を使用しない
爆発・引火の恐れがあります。

⚠ 注 意

 <ul style="list-style-type: none"> ● やけどの恐れあり 指定以外の電球を使用しないでください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● けがの恐れあり お手入れの際はゴム手袋等をお使いください。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと 感電やショートして発火する事があります。 <p>プラグを持って抜く </p>	 <ul style="list-style-type: none"> ● 長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。 <p>プラグを抜く </p>
 <ul style="list-style-type: none"> ● 羽根や部品の取り付けは確実にを行うこと 落下によりけがをすることがあります。 <p>取付注意 </p>	 <ul style="list-style-type: none"> ● 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない けがをすることがあります。 <p>接触禁止 </p>
 <ul style="list-style-type: none"> ● 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと フィルターや部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。 <p>接触禁止 </p>	 <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は、厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。 <p>手袋をする </p>
 <ul style="list-style-type: none"> ● 本体に異常な振動が発生した場合、使用しない 本体、部品の落下によりけがをする恐れがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 指定以外の電球を使用しない ランプ部分が高温となりやけどをする恐れがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 交流100V以外では使用しないこと 火災の原因になります。 <p>使用禁止</p>	 <p>100V</p>

各部のなまえ



品 名	W寸法
BFR-3B-603BL	600
BFR-3B-753BL	750
BFR-3B-903BL	900

使いかた

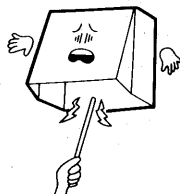
使用上のご注意

⚠ 注意

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをすることがあります。



接触禁止



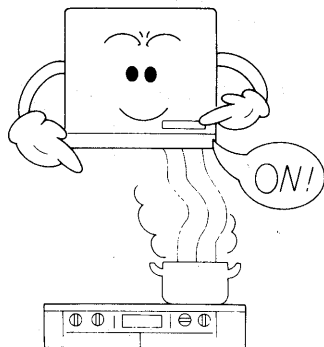
- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと
フィルターや部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。



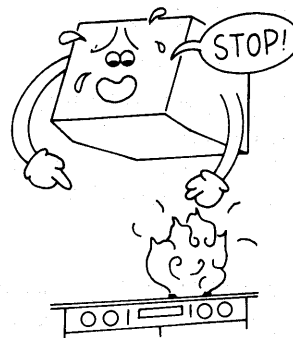
接触禁止



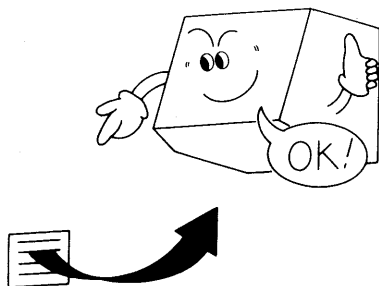
- 調理器具を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください。
運転しないとフード内の温度が上がり、高熱による故障の原因となります。



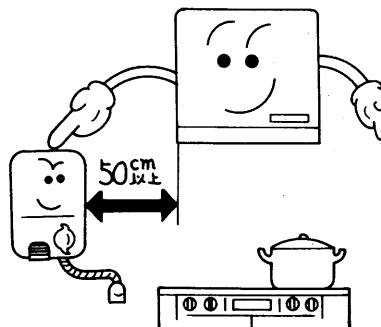
- 調理器具の空炊きは絶対にしないでください。
レンジフード内の温度が高くなり、故障の原因となります。



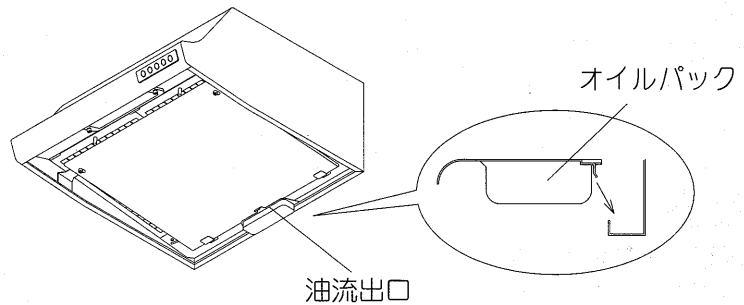
- 調理中は給気を行ってください。
レンジフードの反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。



- 湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください。
ガス湯沸器周辺はかなり高温になるので50cm以上離してください。
湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取り付けしないでください。



- オイルパックが本体の油流出口の真下にセットされているか、確認してください。
(整流板に表示してある矢印の位置に合わせて取り付けてください。)
※オイルパックが油流出口の真下にセットされていないと、調理機器に流れ落ちます。



ご注意

- ガステーブルを使用するときは、必ずレンジフードファンを運転してください。
運転しないとフード内の温度が上がり、高熱による故障の原因となります。
- ガステーブルの空炊きは絶対にしないでください。
レンジフード内の温度が高くなり故障の原因となります。

- スイッチのボタンを押します。

照明 …… ランプが点灯します。ランプを消すときは再度押してください。

強 …… 煙などが多く出るとき、早く排気したいとき。

中 …… 煙の少ないとき。

弱 …… 煙などが少ないとき、長時間静かに運転したいとき。

切 …… 運転が停止します。(ランプは消えません)

ランプの交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、下記の市販の白熱電球または電球形蛍光灯を購入し、交換してください。

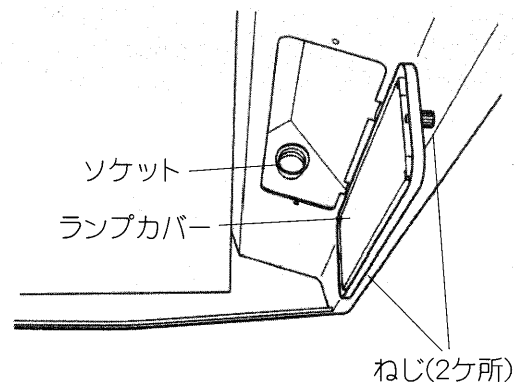
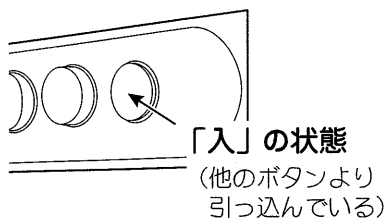
- 白熱電球 …… 定格100V 40W形 □金E26
- 電球形蛍光灯 …… 定格100V 電球40W形 □金E26
形名EFD10E形 (取付可能寸法：長さ98mm以下、直径50mm以下)

● ランプの交換方法

- (1) ランプカバーのツマミを外します。
- (2) 切れたランプを取り外し、ランプカバー内のソケットに新しいランプを確実に固定します。

ご注意

- ぬれた手でスイッチを入/切しないでください。
ランプの交換はスイッチの **照明** ボタンを「切」の状態にしてから行ってください。



感電の恐れがあります。

お手入れのしかた

警告



プラグを
抜く

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること
また、ぬれた手で抜き差し入/切しないこと
感電やけがをすることがあります。

注意



プラグを
持って抜く

- 電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。

ご注意

- 調理直後のお手入れはしない
 - ・調理直後はレンジフードファンが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- おそうじはこまめにする
 - ・油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】
 - ・特にスロットフィルタは汚れやすいので、1ヶ月に1度程度の頻度でおそうじしてください。
早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせると同時に塗装面の劣化も防げます。
- 中性洗剤を使う
 - ・おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズがついたり、はがれたりするおそれがあります。
汚れがひどく、アルカリ性洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

レンジフードファンの油汚れ落としに最適な、弊社推奨の弱アルカリ洗剤「サットレールスプレー」、「サットレールシート」があります。
お問い合わせは裏表紙をご覧ください。



- 熱湯は変形のもと
 - ・60℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。
- 専用のスロットフィルタ(製品にあらかじめセットしてあるもの)を使う、他のフィルターを重ねない
 - ・専用のスロットフィルタ以外のフィルターを使用したり、他のフィルターを重ねたりすると、通気抵抗が大きくなり、吸い込み不良や異音発生、故障などの原因になるおそれがあります。
- ファンを変形させない
 - ・ぶつけたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。
- ファンをはずした状態では運転しない
 - ・ファンをはずした状態で運転しないでください。モーターが過熱して故障の原因になります。
- 食器洗い乾燥機は使用しない
 - ・とりはずした部品は食器洗い乾燥機で洗わないでください。塗装はがれるおそれがあります。

1.分解・組み立てのしかた

注意

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



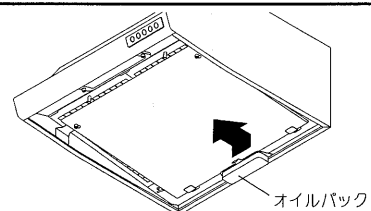
手袋をする

- 羽根や部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります。

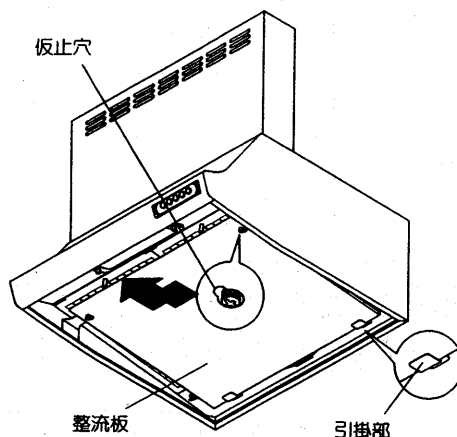


取付注意

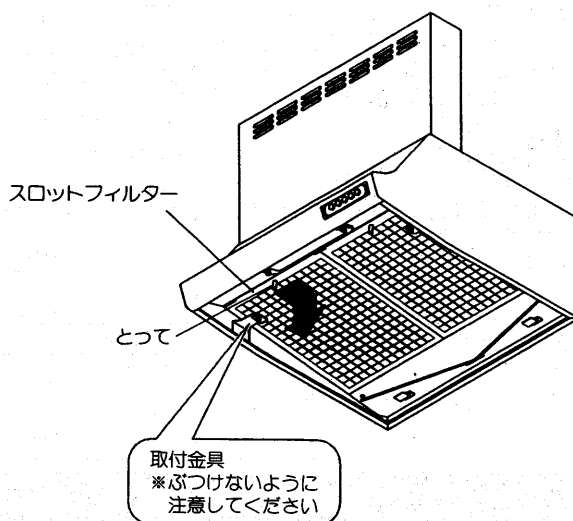
- (1) オイルパックをはずします。
オイルパックを持って上にあげるとはずれます。



- (2) 整流板をはずします。
整流板を固定している取付ねじをゆるめ、取付ねじから整流板の仮止め穴をはずして、本体の引掛部から整流板を前方にずらしてはずしてください。

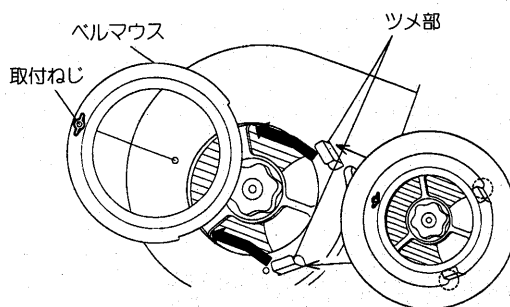


- (3) スロットフィルターをはずします。
スロットフィルターのとつてを持って、奥に押しながら下にさげてはずし、取付金具をさけるように取り出してください。

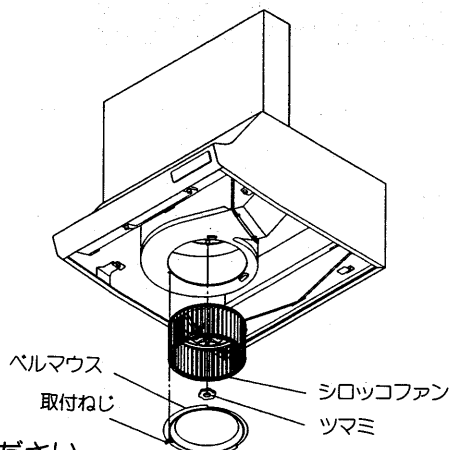


- (4) ベルマウスをはずします。
ベルマウスの取付ねじ1か所を手でゆるめ、右側2か所のツメ部からスライドさせてベルマウスをはずします。

※組み立ての際は、ベルマウスを2ヶ所のツメ部に確実にさしこみ、取付ねじをとめます。



- (5) シロッコファンをはずします。
シロッコファンを軽く手で押さえ、ツマミを、**ゆるむ(時計回り)** の方向に回すとツマミがはずれ、ファンを取りはずすことができます。



ご注意

ファンをぶつかけたり、落としたりして変形させないでください。
異常な音、振動の原因となります。

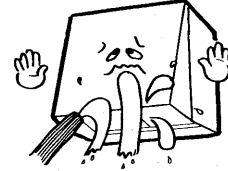
2. お手入れのしかた

⚠ 警告

- 電気部品は、水につけたり水をかけたりしないこと
発火したり感電することがあります。



水かけ禁止

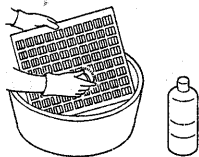


ご注意

- あまり汚れないうちに掃除してください。
- 60℃以上の熱湯は使用しないでください。プラスチックの部品が変形します。
- アルカリ洗剤などは使用しないでください。
- ファン、モーター部には直接洗剤などをかけないでください。故障の原因になります。

■スロットフィルター

1か月に1度程度、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち金属以外のタワシなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



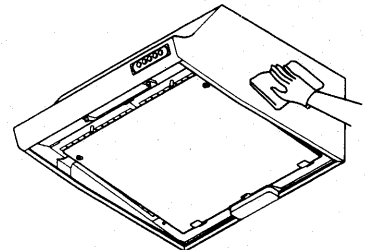
■ファン

本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



■本体

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、清水を湿らせた布で洗剤をよくふきとってください。



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください。

症状	点検するところ
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●コネクターが接続されていますか。
振動・騒音が大きくなった	<ul style="list-style-type: none"> ●ファン固定用ツマミが緩んでいませんか。 ●スロットフィルター、ファンの汚れが多くなっていませんか。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

優良住宅部品(BL)の保証について

この換気扇は、一般財団法人ベターリビングより優先住宅部品の認定を受けたもので、BLマーク証紙を貼り付けてあります。優良住宅部品が自宅に据え付けられ引き渡されたのち2年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。

また、下記に特定部品については優良住宅部品が自宅に据え付けられたのち、3年以内にメーカー責任不良が発生した場合は優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。

特定部分	ベルマウス(ファンカバー)、ファンケース、ケーシング、フード(本体)、前面パネル(前面カバー) (ただし、モーター等電動機構部品、スイッチを除きます。)
------	---

ただし、下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。

1. 住宅用途以外で使用した場合の不具合
2. ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3. メーカーが定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
4. 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の不具合
5. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6. ねずみ、昆虫などの動物に起因する不具合
7. 火災・爆発等事故・落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
8. 消耗部品の消耗に起因する不具合
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

補修用性能部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

その後4年間補修用同種部品または交換可能な同種部品などを供給します。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

出張修理

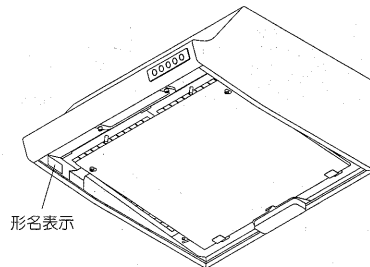
8ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	レンジフードファン
形名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

ご注意

レンジフードファンの形名は、左側面内側に表示してあります。



愛情点検

★長年ご使用の換気扇の点検を



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

仕様

電 圧 (V)	速度調整	周 波 数 (Hz)	消費電力 (W)	風 量 (m ³ /h)	騒 音 (dB)
100	強	50	101	560	43
		60	111	520	42
	中	50	45	300	28
		60	45	270	26
	弱	50	28	200	24
		60	27	190	24

消費電力、風量、騒音の測定は、JIS C 9603による。
騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。
レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

〔設計上の標準使用期間とは〕

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

- 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

標準使用条件

日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz又は/及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603 参照
	湿度	65%	JIS C 9603 参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)} 台所 2 410時間/年	

注^{a)} 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8 760時間/年とする。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただきます、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせには、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。


修理依頼について

修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

購入店名	電話 ()
お客様メモ (システムキッチンメーカー名:)	
ご購入年月日	平成 年 月 日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』のお取り扱い窓口は

フジテックメンテナンス株式会社

〔製造元〕  富士工業株式会社

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お申し込み・お問い合わせ ☎ 0120-227-266

FAX 042-768-3383

ホームページ <http://www.airpro-pj.jp/>

受付時間 9:00~17:45 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)

お客様ご相談窓口 ☎ 0120-071-686

受付時間 9:00~18:00 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)